

4年生の成長を支える：保護者の4つの願いと学級経営のヒント

4年生の保護者アンケートを分析し、子供の成長に対する4つの重点項目（挑戦、自律、対人関係、自己肯定感）を抽出。
これらの願いを「安心できる居場所」をベースに、いかに日々の教育活動に落とし込むかのヒントを提示します。

挑戦と自律：自ら考え、一步踏み出す力

好奇心を持って未知のことに挑み、自分の言動に責任を持つ主体性を求めています。

期待される姿とキーワード

- 挑戦・探求：好奇心、チャレンジ
（失敗を恐れず、高学年への準備として可能性を広げる）
- 自律・主体性：自分で決める、責任
（言われる前に動き、精神的な自立を果たす）

対人関係と自己肯定感：優しさと自分らしさ

相手を尊重するアサーティブな関係性と、周りと比較せず自分を信じる心の強さを重視しています。

期待される姿とキーワード

- 対人関係：思いやり、伝える力
（自分の意見を言いつつ、相手を尊重し感謝する）
- 自己肯定感：自分らしさ、自信
（個性を守り、自分の強みを伸ばす「心の強さ」を持つ）



願いを子供のエネルギーに変える「実践ヒント」



「挑戦」の可視化と「失敗」のポジティブ化
チャレンジの木などの掲示物で称賛し、失敗を「ナイス失敗!」と笑い合える雰囲気を作ります。



言語化習慣による「伝える力」の育成
スピーチや振り返りジャーナルを活用し、自分の考えを正しく相手に届ける習慣を養います。



安心できる「居場所」がすべてのベース
「元気に通えること」を前提に、保護者の期待を子供の意欲へと繋げていきます。